



印西市議会議員

# こんにちは！ ますだようこです

series2 vol.20

発行/増田葉子 2020.5.6 印西市内野2-1-6-202 TEL080-5082-0970 Fax0476-46-6809 e-mail/YFA4\_624@nifty.com  
ホームページもご覧いただけます <http://www.masuda-yoko.com>

新型コロナウイルスに今苦しんでいる方、お亡くなりになられた方に心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。また、感染の拡大で、生活上様々な影響を余儀なくされている皆さんに心からのお見舞いを申し上げ、一日も早い収束を祈念します。

緊急事態の中ですが、3月定例議会の議案と私の一般質問などをご報告します。

## 3月定例議会の議案

### ①新規条例の制定 1件

「木下交流の杜コスモスフットサルパーク設置管理条例」

印旛高校跡地に整備された木下交流の杜公園の施設の一つとして、多目的運動場、ローラー滑り台に続いてフットサルコート2面(ナイター付)が整備された。

### ②条例の一部改正 4件

工業標準化法の改正で、日本工業規格(JIS)が日本産業規格(同じくJIS)と名称変更したことの反映や、成年被後見人の人権に配慮し印鑑登録が可能になる改正など。

### ③令和元年度補正予算 6件

- ・一般会計／(5号)年度末の執行残を約10億円減額。また、台風被災農業者支援の財源など約5億円を次年度に繰り越す補正。(6号)小中学生一人1台の情報端末配備を目指す5ヵ年計画「GIGAスクール構想」の令和元年度分の国庫補助金交付に対応した補正など。
- ・特別会計／国保、下水道、介護保険、後期高齢者医療の5会計。国保は医療給付の増、後期高齢者医療は均等割特例の見直しによる保険料の増などが補正された。

### ④令和2年度当初予算 6件

一般会計は前年度より約29億円増の396億3千万円。増の理由として、非正規職員への期末手当等の支給に伴い、非正規の人件費が約1割増えたこと、子ども人口の増に伴う保育関連の経費や、予防接種等の保健費の増、文化ホールや牧の原学校給食センター等の公共施設の改修費の増など。特別会計と上下水道公営事業をあわせた総額は約600億円。

### ⑤指定管理者の指定 1件

市内6か所の公立駐輪場の指定管理者をサイカパーキング株式会社に5年間指定するもの。

### ⑥財産の取得 1件

木下駅南口の株式会社日本デキシー工場跡地約32,000㎡を8億5千万円で取得した。

### ⑦和解・弁償金 1件

市道の道路排水施設が走行時に跳ね上がり、走行車両を傷つけた事故の賠償金。賠償額は1,175,807円。

### ⑧請願 2件

- ・「香害」から市民を守る取り組みに関する請願(採択)
- ・自衛隊の中東海域派遣にかかる意見書提出を求める請願(不採択)

## あたかも当然のように言うけれど

3月定例会関係の会議が始まった2月中旬、新型コロナウイルスに気をつけなければという意識はありましたが、まだどこか他人事でした。この報告書を書いている今、印西市は人口比から見てもかなり多い感染者が出ています。コロナの話題以外は、皆さんに興味をもっていただけないのではないかとと思いつつ、市政にとって大切な議案もあったので、あえてそちらを取り上げます。

※ ※ ※ ※

3月定例議会の最終日は3/19で、木下駅南口の(株)日本デキシー工場跡地の取得議案(前記⑥)が提出されたのは3/13でした。委員会もすべて終わった後で、追加提出されたこの議案のために、3/16に再招集して審査するというイレギュラーな対応となりました。

「なぜ急に提出したのか。次の議会では不都合があるのか」と何度ただしても、「ちょうど契約が整った。ちょうど議会も開会中だったので提出した」と、あたかも当然のこのような答えで、どんな事情が隠されているのか、いまだ釈然としないものが残ります。まちづくり全体に関わる大事な土地取得だけに、利活用も含めてもっとしっかり審査できるタイミングで提出するべきでした。

議案審査で提出された関係資料を時系列に整理してあります。ホームページの「各議会の議案」を参照してください。

<https://masuda-yoko.com/agenda/>

## 議会報告会 は…

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今回は中止させていただきます。

## 過去には塩漬けが問題に

跡地の取得には「土地開発基金」が使われました。土地開発基金は高度経済成長の時代に、旧自治省の通知で多くの自治体に設置されました。印西市は昭和45年に設置され、常に1億円の現金がプールされています。地価が上がる局面で公共用地を先行取得して、まちづくりをしやすくする役割をもっていました。具体的な事業がないまま取得した土地が塩漬けになる事例もみられ、精算する自治体も増えています。

昨年9月定例会では今回の取得費8億5千万円が積み増しされ、取得によって現金が土地に換わったという位置づけ

になります。そして、用途が決まるまで基金の資産として「塩漬け」されることになります。

## 印西市は今こそ先行取得が必要

印西市は「堅実な」財政運営がされていて、土地開発基金が乱用されることもなく、聞いた範囲では50年の歴史のなかで活用されたのは、今回で2回目だそうです。

これまで何度も訴えてきましたが、人口が増えている地区にコミュニティの拠点となる公共施設を計画的に配置していく必要があります。今こそ土地開発基金を活用した先行取得が必要なのではないかと思っています。

## 私の一般質問

### 「いと可笑し」UR事務所跡地の検討

ニュータウン中央駅南の中央駅前地域交流館に隣接する旧UR事務所を解体・再整備する検討が進められています。新型コロナウイルス感染防止対策で市民説明会は中止になりましたが、新年度になって「千葉ニュータウン中央駅圏複合施設整備基本計画」が決定・公表されました（一般質問の時点では策定中）。その計画によると、現在の中央駅前地域交流館2号館も取り壊し、一体型の施設を建設することになっています。しかし、2号館よりも建設年の古い1号館はどうするのでしょうか？ いったいどんな検討がされてきたのでしょうか。

#### 私の質問

#### 担当部長の答弁

これまでの検討の経緯を改めて伺う。	「UR事務所用地活用施設整備方針」に基づき、庁内検討会、市民委員・学識経験者も入った策定委員会で検討を進めた。
検討のベースとした「整備方針」は、用地購入の交渉窓口であった企画財政部でつくったのか？	議会からの付帯決議を受け、企画財政部でとりまとめ、市としての整備方針を決定した。
2号館を壊さなければならない必要性は何か？	現施設の利用者は約7割が車で来館しており、再整備でさらに利用者増が見込まれるが、駐車場への出入りは一方向のみで、2号館西側のT字路を交差点化とすることで安全を確保したい。支障となる2号館を解体する必要があると判断した。
「整備方針」をつくったときから、2号館を壊す必要性の認識があったのか？	整備方針策定時にも選択肢の一つとして認識していた。
1号館をそのまま残す理由は何か？	耐用年数が10年以上残っているので、計画的に修繕して長期利用していくこととした。
資産経営上の観点から1号館を残すという判断をしたのか？	資産経営上の検討は特段行っていない。

この施設は保健センターが中心となる計画であることから、策定の実務は福祉部が所管していました。「整備方針」をつくった企画財政部でも、実際に計画をつくっている福祉部でも、「2号館を取り壊すことになった。じゃあ1号館はどうしよう」という検討をまったくしなかったということです。新しい施設が出来上がる予定の令和6年度に、1号館の耐用年数はあと何年残っているのでしょうか。1号館をいれた場合と入れない場合の財政負担の比較検討もしていません。

この質問をする以前にその「おかしさ」を指摘すると、「整備方針があるからよけいなことは言えない」という配慮（責任をとりたがらない？）の構図でスケジュールだけが進んでいった様子がみられます。

少し想像してみます。1号館の隣で建設工事が始まりました。利用者は1号館の新築工事が始まったと思うでしょう。

「隣に新しい建物ができたら、そっちに移るのでしょうか？」「いやいや、1号館は関係ないんです」

「え？ ここの設備も古いのに、ここはどうなるんですか？」「さあ、いずれ建て替えるんじゃないでしょうか、よくわかりません」

工事中にはこんなやり取りがたくさん交わされることでしょう。そして、「印西市は何を考えているんだ。おかしいんじゃないか」と多くの市民が思うでしょう。そのコチコチの組織、何とかしてください！